

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和2年12月10日(2020.12.10)

【公開番号】特開2020-60790(P2020-60790A)

【公開日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-015

【出願番号】特願2019-237723(P2019-237723)

【国際特許分類】

G 10 L 19/008 (2013.01)

G 10 L 19/00 (2013.01)

H 04 S 7/00 (2006.01)

【F I】

G 10 L 19/008 100

G 10 L 19/00 330 B

H 04 S 7/00 300

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月29日(2020.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音または音場の圧縮された高次アンビソニックス(HOA)音表現をデコードする方法であって：

前記圧縮されたHOA音表現を含むビットストリームを受領する段階であって、前記ビットストリームは前記圧縮されたHOA音表現に対応するいくつかのHOA係数を含む、段階と；

前記ビットストリームにおいて独立したアクセス単位が存在しているとき、最低の整数<sub>e</sub>に基づいて前記圧縮されたHOA音表現をデコードする段階とを含み、前記最低の整数<sub>e</sub>は

【数1】

$$\beta_e = \lceil \log_2(\lceil \log_2(\sqrt{K_{MAX}} \cdot O) \rceil + 1) \rceil$$

基づいて決定され、

【数2】

$$K_{MAX} = \max_{1 \leq N \leq N_{MAX}} K(N, \Omega_1^{(N)}, \dots, \Omega_O^{(N)})$$

であり、NはHOA次数であり、N<sub>MAX</sub>は関心対象の最大次数であり、<sub>1</sub><sup>(N)</sup>, ..., <sub>O</sub><sup>(N)</sup>は仮想スピーカーの方向であり、O=(N+1)<sup>2</sup>はHOA係数シーケンスの数であり、Kはモード行列の二乗されたユークリッド・ノルム || ||<sub>2</sub><sup>2</sup>とOとの間の比であり、K<sub>MAX</sub>=1.5である、方法。

【請求項2】

音または音場の圧縮された高次アンビソニックス(HOA)音表現をデコードする装置であって：

前記圧縮されたHOA音表現を含むビットストリームを受領するよう構成されたプロセッ

サであって、前記ビットストリームは前記圧縮されたHOA音表現に対応するいくつかのHOA係数を含む、プロセッサと；

前記ビットストリームにおいて独立したアクセス単位が存在しているとき、最低の整数<sub>e</sub>に基づいて前記圧縮されたHOA音表現をデコードするよう構成されたプロセッサとを有してあり、

前記最低の整数<sub>e</sub>は  
【数3】

$$\beta_e = \lceil \log_2 (\lceil \log_2 (\sqrt{K_{MAX}} \cdot O) \rceil + 1) \rceil$$

に基づいて決定され、

【数4】

$$K_{MAX} = \max_{1 \leq N \leq N_{MAX}} K(N, \Omega_1^{(N)}, \dots, \Omega_O^{(N)})$$

であり、NはHOA次数であり、N<sub>MAX</sub>は関心対象の最大次数であり、<sub>1</sub><sup>(N)</sup>, ..., <sub>O</sub><sup>(N)</sup>は仮想スピーカーの方向であり、O = (N + 1)<sup>2</sup>はHOA係数シーケンスの数であり、Kはモード行列の二乗されたユークリッド・ノルム || ||<sub>2</sub><sup>2</sup>と0との間の比であり、K<sub>MAX</sub> = 1.5である、装置。